

「木になるフェスティバル」を終えて

企業支援部 普及連携グループ 大西人史

林産試験場では、（一社）北海道林産技術普及協会と共催で、林産試験場を一般の方へ広く公開し、木を使った様々な科学実験や工作の体験、場内見学などを楽しんでもらうイベント「第27回 木になるフェスティバル」を7月21日（土）に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの子供達や父兄で賑わい、例年より多い716名もの来場者がありました。

開会式では、八坂場長の挨拶後に主催者と来場者の中から代表に選ばれた子供達によるCLTカットが行われました（写真1）。例年は丸太をカットしていましたが、今回は構内にCLTを使ったモデル実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」が年度内に建設予定であることから、完成を祈念してCLTをカットしました。なお、カットされたCLTは北海道産カラマツとトドマツを用いて、林産試験場が製造し強度試験を行ったものです。

催事は、林産試験場13件、一般社団法人北海道林産技術普及協会2件の合計15件でした。それらの概要は次のとおりです。

- ・りんさんツアー（企業支援部）
普段見ることのできない林産試験場の試験機械などを見学するツアー
- ・クイズラリー（企業支援部）
各催事場に設置されたクイズポスターを巡り、全問正解したら記念品がもらえるラリー（先着200名）
- ・いろいろな木で木琴をつくろう（性能部）
いろいろな木を適切な音階となるような長さに切って木琴をつくる（写真2）
- ・ハンノキでネームプレートをつくろう（技術部）
電熱ペンを使って、ハンノキの板に文字や絵を書いてネームプレートを作る
- ・VRで木になるお仕事見学（技術部）
VRゴーグルを使って木材の工場や木造建築を360度見渡せる動画・静止画で体験する
- ・この木なんの木&松ぼっくりでつくろう（利用部）
木材組織をルーペで観察したり、松ぼっくりやトドマツを使った小物づくり（写真3）



写真1 開会式のCLTカット



写真2 催事「いろいろな木で木琴をつくろう」



写真3 催事「この木なんの木&松ぼっくりでつくろう」

- ・バードコールをつくろう（性能部）
木の枝や木っ端とねじを組み合わせてバードコールをつくる
- ・キノコの知らない世界（利用部）
～顕微鏡でのぞくミクロの世界～
顕微鏡でキノコの組織観察
～乾燥マイタケの世界～
乾燥マイタケ「大雪華の舞」を使った料理の実演と試食（写真4）
講師：料理研究家 齋藤映子先生
- ・バイオマス燃料クイズ，ウッドキャンドル等（利用部）
木質バイオマスの展示やクイズ
- ・木の香り当てクイズ（利用部）
6種類の木の香りを当てるクイズ
- ・炭ってどんな性質持っているの？（利用部）
木炭による電池づくり，水の浄化実験
- ・木を割って性格占い？（技術部）
木材をナタで割って，割れ方で性格診断
- ・木でしおりをつくろう（技術部）
木材加工機（シェービングマシン・パールマンチップパー）の実演とオリジナルの木のしおりづくり
- ・木工作体験コーナー（企業支援部）
板や釘，カナヅチなどを使ってスマホスピーカーをつくる木工作体験（写真5）
- ・葉っぱのスタンプ（林産技術普及協会）
木の葉に絵の具を塗ったスタンプを押して，オリジナルのエプロンやトートバッグをつくる（写真6）

これらの催事以外にも，林産技術普及協会による木工クラフト，木っ端，木チップ，飲み物販売や外部業者による軽食などの販売コーナーを設けました。また，物販コーナーのそばのテントに40名程度を収容できるウォータークーラーを置いた休憩所を設けて，来場者がゆっくり座って飲食できるスペースも用意しました。

■おわりに

来場者へのアンケートでは，「木のことをもっと知りたい」「身近な木について，なるほど～と感動することがたくさんありました」などの声を頂き，木材に興味を持ってもらうきっかけを提供できたと感じています。また，特に満足度が高かった催事は，「いろんな木で木琴をつくろう」，「木工作体験コーナー」，「葉っぱのスタンプ」など，実際に物

をつかって持ち帰る木工・クラフト関係の催事でした。このことから，今後より多くの方々に木材の事を楽しみながら知っていただく機会を設け，さらに充実した体験を提供できるイベントとなるよう努めていきたいと思っております。



写真4 催事「キノコの知らない世界」



写真5 催事「木工作体験コーナー」



写真6 催事「葉っぱのスタンプ」